

2001年11月28日

川崎製鉄株式会社

国際興業 三田第2ビルの竣工について

川鉄・五洋共同企業体が昨年8月より工事を進めて参りました「国際興業 三田第2ビル新築工事」が11月12日に竣工いたしました。

「国際興業 三田第2ビル」は、国際興業株式会社のハイヤー用地に建設されたオフィスビルであり、テナントとしては、伸張著しい独立系ITソリューション企業であるソラン株式会社（東証一部上場）及びソラングループが一括借上げとなります。

当社と五洋建設は、この土地活用事業に関し、テナント紹介を含む調査～企画・提案～建設工事に至るまで、トータルの事業提案を行い、その優れた事業性が評価され、本プロジェクトを受注いたしました。

この建設工事は、川崎製鉄が「メーカー型ゼネコン」を志向し、川崎製鉄グループの総力をあげて開発した、施工性に優れた高品質・短工期の都市型システムビル『エクセルコア』の手法を用いて五洋建設株式会社との共同企業体で建設したものです。

本案件の竣工により、当社の「エクセルコア」による大型オフィスビルの施工実績としては合計3件となりました。これまでの2件は「川崎製鉄(株)神戸本社ビル(1996年11月竣工)」「リバー蔵前ビル(1998年11月竣工)」という川崎製鉄グループ関連の案件でしたが、本案件は、施主が国際興業という川崎製鉄グループ以外での初施工案件となりました。

国際興業三田第2ビルの特徴は次の通りです。

- ① 構造：耐震性に優れ施工の省力化が図れる「CFTコンクリート充填鋼管工法」を採用。
- ② 外壁：メインのファサード(壁面)となる第一京浜側については、時流の透明建築を指向し、ガラスカーテンウォールを採用。これにより、道路側への圧迫感を解消し、シャープな印象を与えている。

また、JR線路側については、JR側の厳しい施工条件を満足する為の要素(材料軽量化・工期短縮化)と意匠性を兼ね備えた川鉄建材のフッ素樹脂鋼板性カーテンウォール「ファサーディア」を採用。さらに、JR側の騒音等による就業環境への影響を考え、開口部を計画的に配置した立面計画としている。

今回の工事を通じて、都市型システムビル『エクセルコア』は、高品質・短工期はもちろん、厳しい施工条件をもクリアする工法であることも確認できました。

なお『エクセルコア』については、本年 10 月 1 日に川崎製鉄グループの建設事業部門が統合して発足した川鉄シビル株式会社の一般建設工事部門を担う重要な商品として、今後とも積極的な拡販に努めてまいります。

【ご参考】

- ・工事名称 : 国際興業 三田第 2 ビル
- ・施 主 : 国際興業株式会社
- ・建築場所 : 東京都港区三田三丁目 11 番 24 号
- ・設計・施工 : 川鉄・五洋共同企業体
- ・建物規模 : 地上 9 階建て
- ・延床面積 : 約 12, 800㎡
- ・構 造 : S 造
- ・工 期 : 2000 年 8 月～2001 年 11 月

以上

問合せ先 : 川崎製鉄株式会社 広報室 03-3597-3166